

議 長	副 議 長	局 長	課 長	統 括	副 統 括	係 員

行 政 視 察 報 告 書

平成23年10月9日

笠岡市議会議長殿

笠岡市議会「維新の会」

(出張者) 議員 天 野 喜 一 郎 議員 角 田 訓 也
 議員 藤 井 義 明 議員 蔵 本 隆 文
 議員 大 月 隆 司 議員 田 口 忠 義

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告致します。

記

[1] 第73回全国都市問題会議

住 所	〒999-7781
電 話	事務局 (鹿児島市総務局総務課) TEL 099-216-1125 FAX 0234-42-0896
視 察 案 件	「都市の魅力と交流戦略」
期 日	平成23年10月6日(木) 9:30~17:00 平成23年10月7日(金) 9:30~12:00
主 催 者	全国市長会・(財)東京市政調査会・(財)日本都市センター・鹿児島市
視 察 状 況	報告書内・写真のとおり
訪 問 施 設	鹿児島市民文化ホール 第1ホール
概 要	<p>第1日 10月6日(木)</p> <p>開会式 9:30~</p> <p>開会挨拶 全国市長会副会長 上田市長 母袋創一 氏 開催市市長挨拶 鹿児島市長 森 博幸 氏 来賓挨拶 鹿児島県知事 伊藤祐一郎氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

特別講演 9:50～

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 大西 隆 氏
「3・11からの復興と安全なまちづくり」

1. 東日本大震災と減災思想

想定を超えた巨大な災害が発生する可能性は常にあり、それへの対処には「減災」の考え方をもってあたるしかない。

減災とは、被害を完全になくすることはできず、被害の軽減をはかることとされるが、より具体的には人命は守るが、家・施設などの財産は失われることを覚悟する。

2. 予防的な対策

発生確率の高い東海・東南海・南海等の海溝型地震による津波を最も警戒しなければならない。これらの津波が襲来する神奈川県から高知県にかけての沿岸部や、今回の大津波に襲われた三陸海岸から東松島以南の平野部を含む地域について予防をいかに進めるかが問われている。

3. 人の繋がりによる防災力と自治体間の協力

大西教授が提起した「復興まちづくり会社」は、被災地主導の復興を体現する組織で、初期は財政資金で復旧・復興の事業を担いながら、やがて様々な起業を行って地域の産業と雇用を育てていくことを担っている。

被災というハンディキャップを補うためには、今後適切な特区制度を導入し、事業機会を広げることが望まれている。

また被災地の復旧復興過程で、自治体間の協力が大きな役割を果たしている。

基調講演 10:50～

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
博多駅地区まちづくり推進組織準備会会長 唐池恒二 氏

1. 九州新幹線（鹿児島ルート）

(ア) 第一期開業 2004年3月13日

新八代～鹿児島中央間

(イ) 全線開通 2011年3月12日

博多～鹿児島中央間

(ウ) 全線開通効果を「タテ軸」から九州全域の「面」へ

2. 新博多駅ビル「JR博多シティ」

(ア) 2011年3月3日開業

(イ) 開発面積22,000㎡ 延床面積200,000㎡ 10F～B3F

(ウ) 阪急百貨店、東急ハンズ、シネコン(Tジョイ) 専門店(約230店)

(エ) 「ハコ」から「エリア」へ

3. 都市の魅力の3要素は (木村庄三郎東大名誉教授による)

(ア) 安全・安心

(イ) 歩く楽しさ

(ウ) 食とお土産



主報告 13:10～

**「新幹線の開業効果をまちの力に」
～地域特性を生かした魅力づくりと情報発信～**

鹿児島市長 森 博幸 氏

新幹線全線開業を踏まえた取り組み

(1) 鹿児島市観光魅力戦略の策定・推進

(2) 新幹線開業効果をまちの力に

～地域資源 × 公共交通

① 自然・歴史 × 新幹線 × 多彩な都市内交通

ア よりみちクルーズ + 桜島周遊バス

イ 観光電車 + 市電軌道敷緑化

ウ 観光地周遊バス「カゴシマシティビュー」

② 食 × 新幹線

ア 「美味のまち鹿児島」魅力づくり事業

イ 「美味のまち鹿児島 薩摩美味(うんまか)維新」事業実行委員会

③ 広域的な資源 × 新幹線

ア 東アジアなどからの誘致・・・広域的な観光ルート開発

イ 鹿児島市・熊本市・福岡市・交流連携協定

ウ 鹿児島港へのクルーズ船の寄港地として

エ 鹿児島ぶらりまち歩き

オ 陸・海・空の交通結節点

(3) 新幹線全線開業の効果を最大限に取り組み

九州新幹線全線開業から3ヶ月

博多～熊本間において約218万7千人で対前年比35%増。

熊本～鹿児島中央駅において約129万3千人で対前年比62%増。

一般報告 14:40～

「地域資源の観光資源を成功に導く価値創造アプローチ」

株式会社 バリュー・クリエーション・サービス代表取締役

株式会社 リクルートじゃらんリサーチセンター客員研究員

社団法人 日田市観光協会事務局長 佐藤真一 氏

カスタマー視点 × メディア視点

「カスタマー視点」・・・地域が潜在的に持つ価値の発見

地域資源を精査し、その中から観光資源を発掘し、「観光客一人当たりの滞在時間を延ばし、消費金額を上げる」ことを目的にする。

「メディア視点」・・・プロデュース

社団法人 日田市観光協会

地域資源の観光資源化・・・4年間で事業規模を3倍

事業を通じて稼ぎ出した自主財源を6倍

観光客を動かす2つの行動ソフト

「情報」・・・地域資源の本当の価値を観光客に正しく情報として伝える。

「サービス」・・・商品としてのサービスレベルの期待度と満足度

自分サイズの戦略 × 共働による推進

「自分サイズの戦略」

他地域の成功事例を単純にそのまま自分の地域に適用して成功に導くことが難しいため、自分の地域に合わせたカスタマイズが必要。

「共働による推進」

自分サイズの戦略を描き、実行に移す段階で「誰かがやる」のではなく「皆でやる」ことの重要性。

日本の都市が観光地として世界に通用するようになるためには、「地域をどのようにデザインし、どのようにマネジメントしていくのか」を明確にしていくことが必要。

一般報告 15:50~17:00

「上田市の魅力づくりと地域活性化」

長野県上田市長 母袋創一 氏

「品格・風格・そして魅力あるまち」

地域コミュニティが活発で安全・安心な生活快適都市

人と地域と産業が元気な健康元気都市

文化の薫る創造都市

「魅力あるまちづくりに向けての戦略」

四季を通じた誘客

滞在型観光の推進

日本百名山・・・・・・四阿山

花の百名山・・・・・・根子岳

森林浴の森百選・・・・角間溪谷

遊歩百選・・・・・・塩田平(信州の鎌倉)

日本の棚田百選・・・・稲倉

日本名城百選・・・・上田城・・・・上田城千本桜

魅力アップのツールとしての上田フィルムコミッション

屋根のないスタジオ

ロケのまち上田

映画・ドラマ・CM・プロモーションビデオ等のロケーション撮影

地方鉄道(別所線)の観光面での活用

上田電鉄別所線

JR上田駅(長野新幹線)~別所温泉(信州の鎌倉) 11.6km

別所線再生支援協議会

「乗って残そう」

新たな観光ブランドの創造

真田幸村を主人公としたNHK大河ドラマの実現を目指して

全国のファンからの署名運動

真田氏ゆかりの観光資源を活かした誘客

まちの新たな魅力、価値の創造

文化・芸術活動の中心地・・・・文化・芸術の力によるまちづくり



第2日 10月7日(金)

パネルディスカッション 9:30～

コーディネーター

NPO法人地域力創造研究所理事長

佐藤喜子光 氏

パネリスト

(株)ぐるなび取締役執行役員 営業本部

本部長代行副本部長 兼 法人営業部部門長

溝上 宏 氏

シンクタンク・バードウィング(九州経済社会研究所)代表

鳥丸 聰 氏

大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授

松永桂子 氏

愛知県豊橋市長

佐原光一 氏

岡山県倉敷市長

伊東香織 氏

NPO法人地域力創造研究所理事長 佐藤喜子光 氏

地域商品～地域資源の発掘と商品化～ 競争力の高い「地域商品」

畏文化交流手段～公共交通の整備と利活用～

高速性・高頻度製・定時性・高い費用対効果・快適性

公共交通機関の整備・ICTを活用した集中情報システム・異文化交流手段

ICT～地域商品 × 異文化交流手段 = 地域力創造を生む「触媒」

利用者目線の情報提供

事前情報

旅への誘い・旅のテーマ提供・旅行企画の支援

旅行準備支援 (顎・足・枕・場)

事中情報

ツアーガイドの役割を果たしてくれる情報 (困ったときのお助け情報)

イメージを膨らませる情報

専門的・ニッチな情報・トリビア

事後情報

旅の情報の記録やその情報の一部の他人への紹介

訪問地域の最新情報や再訪・歳購入に繋がる情報

愛知県豊橋市長 佐原光一 氏

豊橋の活性化と公共交通 ～市民の元気は「ほつトラム」

豊橋市の4つの柱

手筒花火・総合動植物公園・路面電車・食文化

シティプロモーションと路面電車

民間の豊橋鉄道(株)の運営だが「市電」と呼ばれている

夏「ビール電車」・冬「おでんしゃ」

豊橋路面電車活性化事業計画

安全島のない停留場の改良・停留場のバリアフリー化

低床車両の導入・ICカードシステムの導入

パーク&ライド駐車場の整備

岡山県倉敷市長 伊東香織 氏

個性と魅力あふれるまち倉敷市

気候が良い

住みやすい

良い衣服や道具などが手に入りやすい

交通の利便性が高い

文化・芸術の施設が集まっている

地域での取り組み

特性の自覚

文化産業局の新設

チボリ公園の閉演 → 本年秋に三井アウトレットモールがオープン



(株)ぐるなび取締役執行役員 営業本部

本部長代行副本部長 兼 法人営業部部門長 溝上 宏 氏

ふるさとを軸とした地域活性

現状把握

顧客・商品・サービス・競合・競争優位性

直近の事業実績

当初の3カ年の事業計画

直面する課題

組織図(人と組織と業務の流れ)

会議録(意思決定と伝達の仕組みとコミュニケーションのルール)

コンセプトを明らかにする

なりたい姿を描く

どのような・どれだけの規模の市場でどのような存在になりたいのか

どれだけのシェアを実現したいのか・何を実現したいのか

シンクタンク・バードウィング(九州経済社会研究所)代表 鳥丸 聰 氏

本格的なハイモビリティ社会を迎えた九州

九州新幹線全線開業「ブーム」を九州の「底力」に

20世紀の九州経済を支えた東西の縦軸

九州クロスハイウエー時代の幕開け

「成長の極」から「都市連携の軸」へ

高まる九州の東西格差の懸念・・・鹿児島～宮崎は大変時間がかかる

九州の一極集中「博多」から熊本・鹿児島へ

アジアの九州あたりが面白い

九州新幹線の底上げは岡山県・広島県

大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授 松永桂子 氏

中山間地域の産業振興・農商工連携・交流戦略
「農」や「食」による地域ビジネス
中山間地における「自立」と「産業化」
「新しい関係性」を生む地域
女性起業「3点セット」がある地域は元気
女性ビジネス・・・農作物直売所・集落営農による農業経営の効率化
「集落ビジネス」・・・集落全員が笑顔で暮らせるように
できるときに、できるだけ
地域ビジネス・・・地域資源を活用した産品を生み出す・・・地域問題の解決
地域内の相互扶助

松永氏は大阪と島根県浜田市を毎週往復して2つの拠点で生活を行っている。

閉会式 11:50

次期開催市市長挨拶

岩手県盛岡市長 谷藤裕明 氏

閉会挨拶

財団法人日本都市センター 理事長 大西秀人 氏

終了 12:00



鹿児島市民文化ホールから望む桜島



鹿児島市内の市電軌道敷緑化



鹿児島中央駅 東口



鹿児島中央駅 西口

添付書類

視察資料 視察状況写真

(個人行政視察用)